

# 和風月名（わふうげつめい）

国立国会図書館所蔵の暦コレクション

旧暦では、和風月名(わふうげつめい)と呼ばれる月の和風の呼び名を使用していました。和風月名は旧暦の季節や行事に合わせたもので、現在の暦でも使用されることがありますが、現在の季節感とは1~2ヶ月ほどのずれがあります。

和風月名の由来については諸説ありますが、代表的なものを紹介します。

※和風月名のアルファベットは 英語表記の省略形(短縮表記) Mayの略表記の最後には「,」(ピリオド)は付きません(省略されていないため)

旧暦の月	和風月名	由来と解説
1月	<b>睦月</b> (むつき) Jan.	正月に親類一同が集まる、睦び（親しくする）の月
2月	<b>如月</b> (きさらぎ) Feb.	衣更着（きさらぎ）とも言う。まだ寒さが残っていて、衣を重ね着する（更に着る）月
3月	<b>弥生</b> (やよい) Mar.	木草弥生い茂る（きくさいやおいしげる、草木が生い茂る）月
4月	<b>卯月</b> (うづき) Apr.	卯の花の月
5月	<b>皐月</b> (さつき) May	早月（さつき）とも言う。早苗（さなえ）を植える月
6月	<b>水無月</b> (みなづき、みなつき) Jun.	水の月（「無」は「の」を意味する）で、田に水を引く月の意と言われる
7月	<b>文月</b> (ふみづき、ふづき) Jul.	稲の穂が実る月（穂含月：ほふみづき）
8月	<b>葉月</b> (はづき、はつき) Aug.	木々の葉落ち月（はおちづき）
9月	<b>長月</b> (ながつき、ながづき) Sep.	夜長月（よながづき）
10月	<b>神無月</b> (かんなづき) Oct.	神の月（「無」は「の」を意味する）の意味。全国の神々が出雲大社に集まり、各地の神々が留守になる月という説などもある
11月	<b>霜月</b> (しもつき) Nov.	霜の降る月
12月	<b>師走</b> (しわす) Dec.	師匠といえども趨走（すうそう、走り回る）する月